

1. 羽村駅から拝島駅

(1) コース・・・約6.5キロ（博物館 +1.8キロ）

羽村駅(東口) → まいまいず井戸 → 羽村駅(西口)
 → 禅林寺 → 玉川水神社 → 羽村取水堰(投渡堰)
 → 第一水門 → 玉川兄弟像 → 堰下橋 → 羽村市郷土博物館 → 堰下橋 → 第三水門 → 加美上水橋 → 宮本橋(田村分水口) → 牛浜橋 → 青梅橋(熊川分水口) → 五丁橋 → 水喰土公園 → 日光橋 → 拝島駅

(2) 見 所

- ・まいまいず井戸(羽村駅東口)・・・鎌倉時代の古井戸。
 - ・禅林寺・・・地元羽村生れの小説家中里介山の墓がある。
 - ・取水堰・・・固定堰、投渡堰、第一水門、第二水門、小吐口、筏通し場、魚道、牛棗(再現)、玉川兄弟像等。
 - ・羽村市郷土博物館・・・堰下橋を渡って対岸にある。羽村堰や玉川上水の諸資料が多数展示。(入場無料)
 - ・チューリップ畑・・・堰から上流へ10分ほど歩く。見頃は4月中旬、一面に咲くチューリップは見事。
 - ・羽村橋付近の桜・・・約100本の桜は花見の名所。
 - ・古堀跡・・・玉川上水開削後多摩川の氾濫で度々堤防流失のため、元文5年(1740)約600mの水路を北側に堀替えた。旧堀跡が加美上水公園になっている。
- (注 意) このコースの「宮本橋から水喰土公園」の2キロ余りの区間は玉川上水沿いの緑道が途切れている。旧奥多摩街道や市道への迂回が必要。



新緑の宮本橋上流 (新堀と旧堀の合流付近のカーブ)

2. 拝島駅から玉川上水駅

(1) コース・・・約7.0キロ

拝島駅 → 日光橋 → 平和橋(拝島・殿ヶ谷分水口跡)
 → 拝島原水補給口 → 拝島上水橋 → 美堀橋 → 松中橋(柴崎・砂川分水口) → 砂川水衛所跡 → 残堀川立体交差 → 見影橋 → 金比羅橋 → 清願院橋・玉川上水駅

(2) 見 所

- ・日光橋・・・八王子・千人同心が日光勤番の折に通った「旧日光街道」に架けられたアーチ橋が残る。
- ・拝島原水補給口・・・10月～4月末の間、多摩川から汲み上げ随時1日5万トン程度玉川上水へ補給している。
- ・滑走路予定地跡・・・美堀橋よりやや下流、400mの区間が暗渠に。これは戦時中に玉川上水の南側に在った軍需工場が滑走路を延長にする予定で水路に蓋をした名残。
- ・残堀川立体交差・・・玉川上水の上を残堀川が横切っている。(昔は逆に残堀川の上を上水が横切っていた)
- ・見影橋周辺は桜の名所・・・この橋の上流兩岸、染井吉野や八重桜が見事。源五右衛門分水口跡や巴河岸跡も。
- ・金比羅橋・・・上流左岸は旧砂川水衛所跡、右岸に上水を掘った時の残土で築いた小山に金比羅権現が祀られる。
- ・清願院橋・・・モノレール開通以前は芋窪街道はこの橋を通った。今は地下道で上水と西武線を一気に横切る。



玉川上水関係略図

東京都水道局・水道ニュースから作成

3. 玉川上水駅から一橋学園駅

(1) コース・・・約6.4キロ（薬用植物園 +1.1キロ）

玉川上水駅 → 小平監視所 → 清流復活放水口・上水小橋 → 小川橋 → 都立薬用植物園 → 小川橋 → 寺橋 → 久右衛門橋 → 旧小川水衛所跡 → 平櫛田中彫刻美術館 → 野草育成ゾーン → 桜橋 → 一橋学園駅

(2) 見 所

- ・この区間は素掘りの深い堀が続く。又雑木林の散策路はもともと武蔵野らしい原風景ともいわれている。
- ・足湯・・・ゴミ焼却炉の余熱を利用。散策の疲れを癒してくれる。上水小橋から約500m下流左岸(無料)
- ・新堀用水・・・桜橋までの左岸を明治期に掘られた新堀用水が並流する。最初の約1kmの区間は胎内掘り。
- ・都立薬用植物園・・・3万㎡、薬草を主に約1600種類の草花を四季折々楽しむことができる。(入場無料)
- ・くぬぎ橋・寺橋・・・水面まで6m以上の深い堀が続く。橋の上からの壁面等水路や野鳥の観察に最適。
- ・小平中央公園・・・東鷹の橋北側に広がる公園。春は桜、秋はイチョウの紅葉が綺麗。噴水前で一休み。
- ・ふれあい下水道館・・・久右衛門橋から南に80m。地下25m直径4.5mの下水本管内に入れる。市内分水等の展示も。
- ・久保河岸跡・・・久右衛門橋下流左岸、船着き場の跡。
- ・野草育成ゾーン・・・数多くの自生野草が観察できる。
- ・小平市平櫛田中彫刻美術館にも立ち寄りたい。

上流部 羽村取水口から小平監視所・・・水道原水
 中流部 小平監視所から浅間橋跡・・・下水高度処理水
 下流部 浅間橋跡から四谷大木戸・・・暗渠(排水路)

4. 一橋学園駅から三鷹駅

(1) コース…約8.1キロ (たてもの園 +0.7キロ)
 一橋学園駅 → (小平)桜橋 → 喜平橋 → 小金井橋
 → 陣屋橋 → 小金井公園(江戸東京たてもの園・真蔵院)
 → 陣屋橋 → 梶野橋 → 新橋 → 境橋(境水衛所跡・
 千川上水分水口) → 桜橋 → 櫻橋 → 三鷹駅

(2) 見 所

- ・小金井サクラ・旧小川水衛所・境水衛所跡間約6キロに植えられたヤマザクラ。小金井公園の桜も見応えある。
- ・海岸寺・茅葺の山門前に小金井桜の「桜樹碑」が建つ。
- ・江戸東京たてもの園の見学も如何。
- ・真蔵院・新田開発に貢献した川崎平右衛門の供養塔。
- ・旧千川上水分水口跡・新橋下流約250m左岸に、昭和41年(1966)まで使われた分水口の堤や水門、堰が残る。
- ・境浄水場・桜橋から大橋付近までの玉川上水北側に広がる。多摩湖や狭山湖を経由して多摩川の水を緩速濾過方式で美味しい水道水に。(通常は非公開)
- ・櫻橋から三鷹駅の区間は2階建て・上部は人工のせせらぎと小公園。下部は玉川上水の水路が残る。

5. 三鷹駅から富士見ヶ丘駅

(1) コース…約5.8キロ

三鷹駅・三鷹橋 → 万助橋 → 井の頭公園 → ほたる橋(牟礼分水口跡) → 牟礼橋 → 岩崎橋(烏山・北沢分水口跡) → 浅間橋跡(開渠終点) → 富士見ヶ丘駅

(2) 見 所

- ・禅林寺・三鷹駅から約1キロ、森鷗外と太宰治の墓。
- ・太宰治碑・三鷹橋下流右岸の小公園に小さな碑が又入水地近くに出身地青森・金木村産「玉鹿石」が置かれている。遺体は7日後下流の新橋付近で見つかった。
- ・万助橋から下流の散策路・雑木林の風情や流路のカーブ、兩岸の高低差など変化に富む。
- ・旧牟礼橋・古くは豊かな水量からドンドン橋と呼ばれた。今の橋は昭和8年に架設されたレンガアーチ橋。
- ・暗渠に入った玉川上水・流れは地下の「管路」で下流の「中の橋交差点」から環八通りを北上、高井戸駅付近の「佃橋」下で神田川へ流れ込んでいる。

6. 暗渠区間にも新たな発見が

○富士見ヶ丘駅(浅間橋跡)～代田橋駅まで 約6.4キロ
 ○代田橋駅～四谷大木戸跡・新宿御苑駅まで 約7.0キロ
 この区間は一部「代田橋駅」付近と「笹塚駅」付近を除いては暗渠化されているが排水路として水路は残る。
 高速道路の下や国道に面する区間もあるが、多くは緑道や公園となっているのでほぼ全区間を旧水路に沿って歩くことが出来る。随所に旧橋の欄干や碑などが残されており思わぬ発見も。管理する区や住民の意識の違いなども伝わってくる。開渠部と違った雰囲気味わえる。

7. 四谷大木戸跡から皇居へ(番外編)

(1) コース…約7.0キロ

新宿御苑駅 → 四谷大木戸跡(水番屋跡) → 四谷駅
 → 清水谷公園(石枘) → 半蔵門 → 国立公文書館前 →
 北桔橋門 → 本丸跡(天守閣跡) → 皇居東御苑 → 大手
 門 → 大手町駅

石枘・和田倉噴水公園

(2) 見 所

玉川上水の水は四谷大木戸からさらに江戸城と江戸市中に送られていた。

本コースは各所に歴史遺跡が残る。事前に調査してから散策することをオススメしたい。東京都水道局「玉川上水2」～江戸市中の巻～ 参照



四谷大木戸・渋谷川への吐水門 都水道局「水道400年のあゆみ」から

玉川上水ワンポイントガイド No.11

玉川上水お勧め散歩ガイド



井の頭公園内に残る 堰と牟礼分水口(約15×15.6cm)跡

シリーズ 玉川上水ワンポイントガイド

No	テ ー マ	
1	玉川上水の概要	07. 4月発行
2	玉川上水の分水	07. 5月発行
3	玉川上水の分水・小平編	07. 6月発行
4	玉川上水と小平周辺の新田開発	07. 7月発行
5	玉川上水の橋	07. 8月発行
6	玉川上水の水車	07. 9月発行
7	玉川上水の通船・船溜り	07. 10月発行
8	玉川上水の樹木・野草・野鳥	07. 11月発行
9	玉川上水と小金井サクラ	07. 12月発行
10	玉川上水あれこれ	08. 1月発行
11	玉川上水お勧め散歩ガイド	

発行 2008年2月 No.11発行

発行 小平・玉川上水再々発見の会
 E-mail tamagawasaisai@yahoo.co.jp
 代表 庄 司 徳 治